

第2回普及啓発部会が開催されました。



2017年7月21日
上越市民プラザ第5会議室にて

第2回普及啓発部会

委員7名と事務局3名が参加し、まず私たちが考える在宅生活の現状やイメージについて、話し合いを行いました。その後、目指すゴール及び今後の計画を立てました。

○在宅生活の現状～各職能団体・勤務の立場から～

- ・医療・介護が必要な方の在宅生活は、ハッピーな方もいるが、残念ながらアンハッピーな方もいる。その違いを考えて普及啓発していくことが大切。
- ・認知症の人は、進行する前に将来の希望があれば、書き留めておくことが必要（にっこり手帳の普及）
- ・在宅生活の楽しみの一つは『食べる事』。食べられるようになると元気になる。多職種連携で支援できる。
- ・病院を退院し在宅で暮らす「生活」の状況を病院のスタッフもイメージしてもらうことが大切。あきらめない！

○部会の目指すゴール

医療・介護が必要となっても在宅で支援を受けながら生活することや在宅生活の良さについて知る機会をつくり、近い将来の自分事として考えることができる普及啓発を行う

○普及啓発内容

【内 容】

- ・医療・介護が必要となったときの在宅生活のイメージについて事例を通して紹介
- ・医療・介護が必要な方が在宅生活をするために必要な支援の紹介
- ・「かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局を持つ」ことの勧奨

【方 法】 地域へ出向く講座を開催

【対 象】

これから介護世代となる50代、60代、70代を中心に普及する

【計 画】

- ・H29年度…講話台本や資料を作成し、普及啓発部会委員で試行実施
- ・H30年度…部会を構成している各職能団体を講師とし普及啓発を実施

○次回

10月4日（水）19：00～21：00
市民プラザ第5会議室

★自分に介護が必要になったら？を考え、将来に向けての心構えを持つことができるような内容を部会メンバーで協議していきます★